碧南の図書館友の会会報
航海日誌

碧南の図書館友の会編集
碧南市鶴見町１－７０－１
電話　0566(41)0894
№　１４０　　２０２２年９月
編集責任者　　小島　逸男

図書館協議会参加報告

碧南の図書館友の会　会長小島　逸男

碧南市民図書館本館

令和４年７月１４日午前１０時より、碧南市図書館協議会に出席しました。図書館法第１４条により定められた会議で、市民の声を図書館の運営に反映させるのが目的で、全国の図書館で開催されています。有識者や学校関係、ボランティアなどの市民代表が選ばれており、私も碧南の図書館友の会の代表として参加しました。

図書館からは、令和３年度の図書館行事、今年度の事業計画の説明がありました。本館では、お話会など 29 件、南部分館では、絵本の時間など 19 件、中部分館では春休み工作教室など１９件の、図書館利用促進事業が説明されました。団体活動のボランティア活動として、碧南の図書館友の会、かざぐるまなど４グループ、読書グループ活動としては、キリーク会など１１グループの活動が紹介されました。

電子図書 open

図書館では、昨年度より電子図書の受け入れ貸し出し開始やフリー WIFI の導入など、最新のデジタル化に対応する取り組みなども紹介されました。

図書館 Wi-Fi 案内

昨年度は、コロナ対応の為図書館の行事も、ボランティア活動も中止されることが多く発生しました。密集化を避け、参加人数の制限などにより、従来とは違った方法とらざるを得ず、いろいろと試行錯誤しながら、活動を継続されている例も、多く見受けられました。

友の会からは、苦労していることとして、メンバーの高齢化、メンバーの減少などを挙げておきました。他のボランティア団体も同様な苦労話をされていました。

次の協議会は、今年度の事業計画の実施状況報告の為、年度の終り頃の３月開催の予定となっています。

本のあれこれについて

碧南の図書館友の会　フリー会員　武島　章

現在、我が家には４,３００冊の蔵書があります。著者のサイン本が１,３００冊あり、いろいろなテーマ毎に図書館にて「サイン本展」３回行い、中日新聞に３回紹介されました。

今回は本の表紙についてお話します。本の表紙の素材には紙, ビニール　, 布地　, 硬質材　, 皮の５種類のお話をします。

１. 紙　　新書本、文庫本の様に薄い紙の表紙から、小説等の単行本は段ボールみたいな厚手の芯材にそれなりの上質紙を貼り合わせた表紙で一番多い素材です。

一般的に「PP 加工」（表面に極薄の透明フィルムを貼り合わせ）がされています。単行本の場合は本体ではなくてカバーに処理されているのが一般的です。洒落た本の場合には局紙（手漉き和紙）表紙もあります。

２. ビニール　　辞書、教科書等使用頻度が多く耐久性を重視した実用的な表紙。

３. 布地　　単行本同様に段ボールみたいな厚手の芯材に各種の布地を貼り合わせた表紙。使用される布地には、木綿、麻布、絹布等使用されています。

昭和２６年発行

出版五十年記念愛蔵版

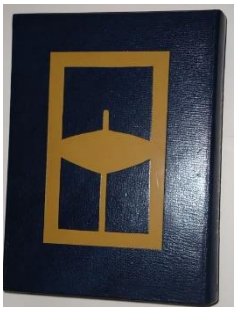
高村光太郎「詩集　智恵子抄」龍星閣　昭和２６年新版発行の表紙は真紅のシルクに左上に小さく「智恵子抄」のみ銀文字で刻印されていて、とても上品な装丁ですが、出版五十年記念愛蔵版（発行価格２５,０００円）は表紙に朱赤染丸皮の使用は可としても智恵子の切絵と思われる花のデザイン画が一面に金箔で描かれていて、とてもセンスある表紙とは思われません。

４. 硬質材（ガラス・陶磁器・金属等）　金属表紙は私の蔵書の中にはありませんが、新田次郎「強力伝」（発行価格３０,０００円）色染山羊皮に白馬岳山頂の風景指示版を模した銅版が埋込まれています。

新田次郎「強力伝」

５. 皮　　牛・羊・山羊・豚等の皮を表紙に使用することは豪華本では一般的で、表裏使用から背表紙のみ使用までいろいろあります。

大型版使用例は、川端康成「定本　雪国」（発行価格１５,０００円)、A４版ですから通常の単行本の２倍以上です。


定本　雪国

究極の稀覯本（滅多に見られない本）は、人間の皮で装幀した「人皮装幀本」だそうです。良く知られているところでは、画家の藤田嗣治が南米のエクアドルに行ったときに同国の大統領の子息から贈呈されたもので、スペイン語による宗教書と聞いています。　　（２０２２年７月）

旅の途中に「ゆすはら雲の上の図書館」

音声訳グループひびき　杉浦　真砂子

今年の５月、四国一周旅行をしました。高知市から松山市へのドライブ・ルートを調べていると、ガイドブックにインスタ映えのする図書館を見つけ立ち寄ることにしました。

５年前に開館した図書館は隈研吾氏の設計でこんな山の中になぜ？と思ってしまうなんとも洗練されたデザインの施設です。四方八方が山のゆすはら町ですが、隈研吾氏の建築物は図書館だけでなく町の総合庁舎、福祉施設、マルシェゆすはらなどがあり、まるで隈研吾ミュージアムの様な街並みでした。碧南市民図書館が１９９５年に受賞した日本図書館協会建築賞をこの図書館も昨年受賞されたそうです。

靴を脱いで入館することで、足元からも木のぬくもりを感じました。訪れた平日の午前は静かに見学でき、ありがたいことに撮影も OK でした。おいしいコーヒーが飲めるカフェもあるし一日ここで過ごしたいそんな居心地の良さを感じた図書館でした。

〒785-0610　高知県高岡郡梼原町梼原１２１２番地２
梼原町立図書館「雲の上の図書館」
電話　０８８９－６５－１９００
ホームページ　kumonoue-lib.jp

第２８回

音楽と朗読のつどい

音楽を楽しむ

バイオリン　熊谷祥子さん
ピアノ　加藤里奈さん

おはなしを楽しむ

朗読劇　かざぐるま
人形劇　おはなしキャラバンたんぽぽ
大型絵本　夢クラブ

２０２２年１１月５日（土）
芸術文化ホール　シアターサウス
開場１３：００開演１３：３０
チケット３００円（抽選券つき）
１０月８日（土）より図書館本館にて販売

碧南の図書館友の会　視察見学会のご案内
日進市立図書館を訪ねます。

日時：令和５年３月３日（金）目的地：日進市立図書館
参加費：個人の昼食代程度　募集方法・詳細については１１月頃お知らせします。

碧南の図書館友の会

会　員　募　集

会員継続のお手続きをお願いいたします

会費：　一人年額500円（令和5年3月31日まで）
会報「航海日誌」をお届けします。
友の会主催の視察見学会への参加資格が得られます。（昼食費各自負担）
リサイクル本バザーの購入券（100円）を差し上げます。

お申込みお問い合わせ
碧南市民図書館本館　電話0566－41－0894
申込用紙は図書館本館カウンターにありますので、おたずねください。